

平成19年度 業務実施状況のあらまし



平成20年9月
中部森林管理局

写真：北穂高岳より槍ヶ岳を望む
(上高地国有林)

目 次

	(頁)
はじめに	1
1. 公益的機能の発揮に向けた取組	
(1) 森林整備事業	3
(2) 治山事業	5
(3) 森林技術開発・普及	6
2. 森林環境の保全	
(1) 保護林など優れた自然環境を有する森林の維持・保存	7
① 保護林の指定等	7
② 「緑の回廊」の設定及び整備の推進	8
③ 自然再生の推進	9
④ 野生動植物の保護管理	10
(2) 森林の巡視、病虫害の防除等適切な森林の保全管理	11
3. 林産物の供給	
(1) 生産・販売量の確保と低コスト・高効率作業 システムへの取組	12
(2) 特産樹種の供給	13
(3) 木材の利用促進等	14

【表紙の写真】

写真左：登山マナーの啓発活動
長野県王滝村・岐阜県下呂市 御岳・落合国有林

写真中央：第2回森林ふれあい講座
岐阜県中津川市 加子母裏木曽国有林

写真右：「親子で楽しむ森林散策」
長野県飯山市 大神楽国有林

	(頁)
4. 国民の森林としての取組	
(1) 国民参加の森林づくりの推進	15
① 分収林制度	15
② NPO等による森林づくり	16
ア「ふれあいの森」	16
イ「名古屋シティ・フォレスター事業」	17
③ 木の文化を支える森づくり	18
④ 民間団体等の多様な活動を推進するための協定	19
⑤ 巨樹・巨木の保護活動	20
⑥ ボランティア団体等の支援	21
⑦ インターンシップの受入	21
(2) 森林環境教育の推進	22
① 森林環境教育の実施	22
② 国有林のフィールドの活用	23
(3) 双方向の情報の受発信	24
(4) 地域等との連携	25
5. 地域振興への寄与	
(1) 公衆の保健のための活用	26
(2) 国有林野の活用等	27
6. 事業運営	
(1) 平成19年度の収支	28
(2) 労働安全衛生の確保	29
7. 組織	30

はじめに

中部森林管理局管内の国有林野は、富山、長野、岐阜、愛知の4県にまたがり、標高十数メートルの都市近郊林から「日本の屋根」といわれる日本アルプスをはじめとする高山帯まで分布し、その多くは地形が急峻な脊梁山脈や重要な水源地帯に分布しています。

また、これらの国有林野は、スギ、ヒノキ、カラマツなどの人工林から原生的な天然林に至るまで多様な森林生態系を構成しています。

さらに、国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、森林とのふれあいや森林環境教育の推進などに加え、地球温暖化の防止、生物多様性の保全などの観点からも、森林の果たす役割はますます重要となっています。

中部森林管理局では、このような森林に対する要請に応えるため、公益的機能の発揮を旨とする管理経営を推進することとし、国有林野を国民の共通財産として、多くの国民の参加の下に森林整備を行い、名実ともに開かれた「国民の森林」を目指し取り組んできました。

この報告は、中部森林管理局が平成19年度の1年間に実施した様々な取組を「業務実施状況のあらまし」として取りまとめ、皆さんにお知らせするものです。

「平成19年度 業務実施状況のあらまし」の問い合わせ先
総合窓口：企画調整室企画調整係
(TEL:050-3160-6507 FAX:026-236-2657)
(ホームページ：<http://www.chubu.kokuyurin.go.jp/>)

林野庁においても、毎年「国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」を公表しています。

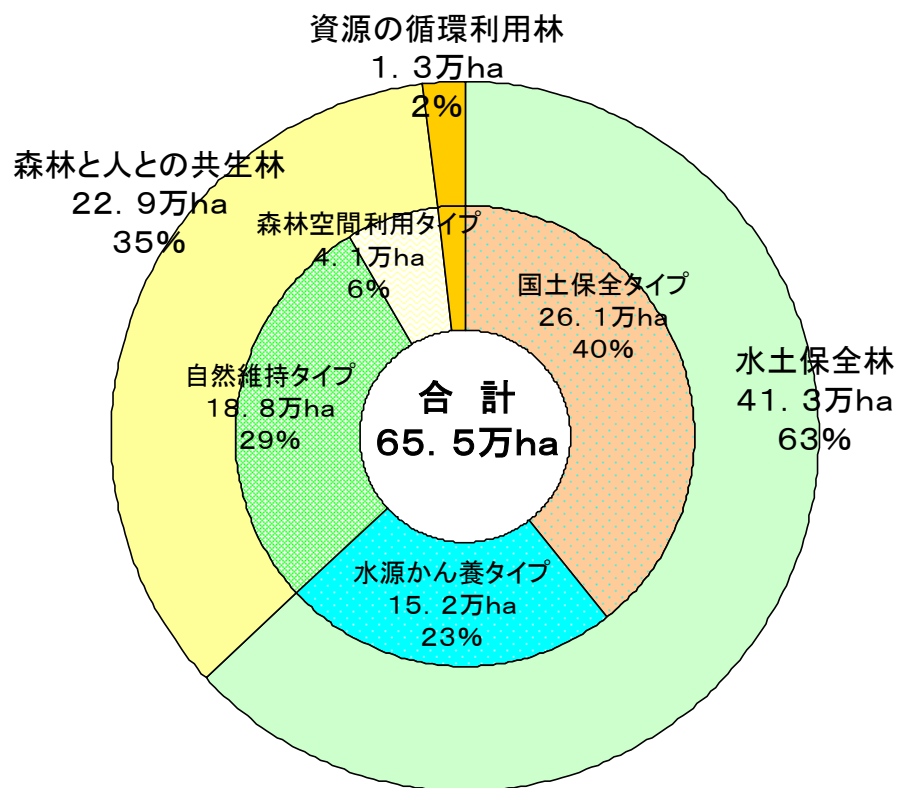
中部森林管理局管内図



1. 公益的機能の発揮に向けた取組

管内の国有林野は奥地脊梁山脈や重要な水源地に広く分布しており、地域特有の景観や豊かな生態系を有する森林も多く、国土の保全、水源のかん養、生物多様性の保全等の公益的機能の発揮に大きな役割を果たしています。こうした森林に対する要請に応えるため、国有林野を重点的に発揮させるべき機能によって類型化し、それぞれの区分に相応しい管理経営を行うとともに、地球温暖化防止対策等の課題に率先して取り組んでいます。

国有林の機能類型区分ごとの面積 (平成20年4月1日現在)



保安林の指定状況

(単位: 箇所、ha)

保安林の種類	平成18年4月1日		平成19年4月1日		平成20年4月1日	
	箇所数	面積	箇所数	面積	箇所数	面積
水源かん養	347	424,451	349	424,604	351	426,270
土砂流出防備	(7) 227	(4,356) 189,633	(7) 229	(4,356) 189,635	(6) 229	(4,259) 189,617
土砂崩壊防備	11	503	11	503	11	503
防風	1	3	1	3	1	3
干害防備	(5) 11	(391) 407	(5) 11	(391) 407	(6) 10	(426) 372
なだれ防止	9	156	9	156	9	156
落石防止	1	25	1	25	1	24
保健	(55) 3	(39,729) 207	(55) 3	(39,729) 207	(55) 3	(39,691) 207
風致	2	257	2	257	(1) 2	(97) 160
合計	(67) 612	(44,476) 615,642	(67) 616	(44,476) 615,797	(68) 617	(44,473) 617,312

注1: 兼種保安林は上位のものにまとめて掲上し、下位のは()外書で記載

注2: 飛砂防備保安林、水害防備保安林、潮害防備保安林、防雪保安林、防霧保安林、防火保安林、魚つき保安林、航行目標保安林については指定なし

(1) 森林整備事業

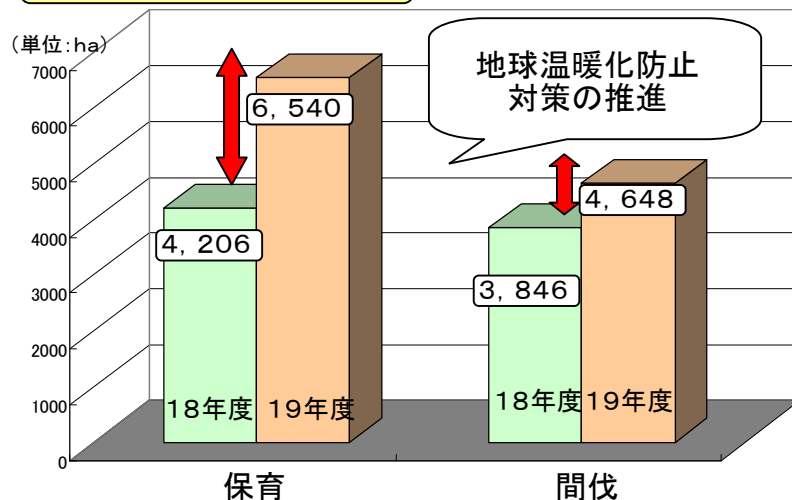
公益的機能を高度に発揮させ、地球温暖化防止にも資するため、間伐等の森林整備を計画的に実施し、伐採年齢の長期化、複層林化、天然力を活用した針広混交林化等多様な森林づくりを推進しました。

森林造成の実施状況

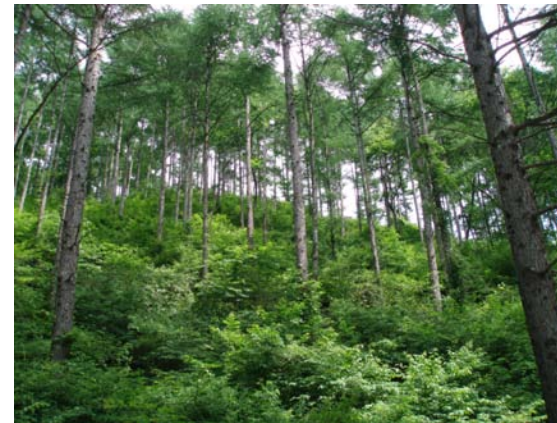
(単位:ha)

区 分		19年度実績	(参考)18年度実績
人工造林	育成単層林の造成	48	88
	育成複層林の造成	44	27
	計	92	115
天 然 更 新		125	354
合 計		217	469

保育及び間伐の実施状況



森 林 整 備



おおまがり

場所:長野県佐久市 大曲国有林 東信森林管理署管内
説明:間伐により下層植生が発達した林分



だいもんやま

場所:長野県長和町 大門山国有林 東信森林管理署管内
説明:列状間伐を実施したカラマツ林分

森林を適切に整備・保全するために必要な林道等については、地形・地質・景観など現地の実態に即した適切な工種・工法等の採用、間伐材等木材の積極的な活用や低コスト化を図りつつ、路網の整備に取り組むとともに、効果的・効率的な路網開設のため、民有林関係者との情報の共有にも努めました。

また、平成18年7月豪雨による災害箇所の早期復旧に取り組みました。

林道の新設状況

(単位:km、路線)

区 分	19年度実績	(参考)18年度実績
新 設 延 長	5.9	8.1
路 線 数	8	11

- 特に、間伐の推進等に必要な低コスト路網として、16路線、10.5kmの作業道の作設に取り組むとともに、自然環境への配慮や地球温暖化防止の観点から、木材を利用した工法により、間伐材の積極的利用を推進

林道事業における間伐材の使用量

(単位:m3)

区 分	19年度実績	(参考)18年度実績
林 道	1,552	1,480

林道路網の整備



場所: 岐阜県高山市 ^{やまなかやま} 山中山国有林
飛騨森林管理署管内

説明: 重機による低コスト路網の作設
(低コスト・高効率作業システム
検討会) (写真左)



場所: 岐阜県高山市 ^{やまなかやま} 山中山国有林
飛騨森林管理署管内

説明: 低コスト路網の作設 (写真右)



場所: 長野県上田市 ^{そえひやま} 傍陽山国有林 ^{か がもり} 加賀森つばくろ林道 東信森林管理署管内

説明: 間伐材による丸太積工を採用した林道

(2) 治山事業

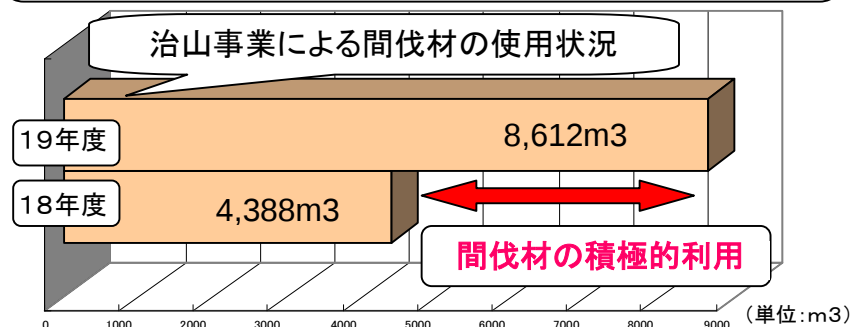
中部森林管理局管内は日本列島を大きく分ける二つの構造線(断層)が走っていることなど、山地災害の危険性が高い地域であることから、国民が安心して暮らせる社会を実現するため計画的かつ効率的な治山事業を実施しました。

治山事業の状況

区 分	19年度実績	(参考) 18年度実績
渓 間 工	238 基	123 基
山 腹 工	115 ha	95 ha
集 水 井	0 基	4 基

【取組事例】

- 平成18年度補正予算及び19年度経常予算により、平成18年7月豪雨災害の被害箇所など近年発生した台風、集中豪雨等の激甚な災害箇所において、早期復旧に向け集中的に事業を実施
- 民有林と国有林との連携による効果的な治山対策の一層の展開を図るため、県との連絡調整会議を開催。
特に、特定流域総合治山事業(木曽谷・揖斐川・木曽川流域)においては、森林管理署と県出先事務所とが合同で現地検討会を開催するなど、双方の連携を一層強化
- 谷止工等の設置時には原則木製残存型枠を使用するなど、間伐材の使用を拡大するとともに、大転石など現地発生材の有効活用・現地の既往種による緑化等の親自然型工法を積極的に採用



治山事業等現地視察会



場所: 岐阜県高山市 穂高国有林
飛騨森林管理署管内

説明: 地元の住民等を対象に現地視察会を実施

治山事業の実施(間伐材の使用)



場所: 長野県松本市 上高地国有林
中信森林管理署管内

説明: 景観に配慮し木材パネル(表面焼丸太)を採用した鋼製枠土留工(写真左)

場所: 長野県伊那市 浦^{うら}国有林
南信森林管理署管内

説明: 間伐材の利用促進を図るため丸太柵工を採用した山腹工(写真右)



(3) 森林技術開発・普及

森林技術センター(岐阜県下呂市)が中心となって、現場レベルでの技術開発を進めるとともに、林業関係者等に対する指導・PR等に努めました。

【取組事例】

- 森林技術センターでは、「低コスト作業システム」の普及を目的として、小川長洞国有林の低コスト作業システム展示エリアを活用し、民有林関係者の視察を受入

また、企業の林業技術講習会等にフィールドを提供するとともに林業技術について指導

- 国有林内にさまざまな実験林・試験地を設定し、得られた成果を森林施業に反映

また、外部の試験研究機関等に対して国有林野をフィールドとして提供

- 「中部森林技術交流発表会」を開催し、各森林管理署等のほか、管内の2県(富山、長野)、1大学(名古屋)、長野県林業大学校、2高等学校(上伊那農業、飛騨高山)が研究成果等の発表を行い、日頃の成果を発表し、相互に交流

(2月開催 傍聴を含め180名が参加)

林業技術の普及



おがわながほら



場所: 岐阜県下呂市 小川長洞国有林 森林技術センター管内

説明: ①低コスト作業システム展示エリア(ヒノキ列状間伐)

②企業の講習会にフィールドを提供するとともに、伐倒集材技術を指導

木材チップ被覆試験



おがわいり



場所: 長野県上松町 小川入国有林 木曽森林管理署管内

説明: ①樹根が露出した遊歩道

②木材チップを敷き詰め被覆効果を試験

森林技術の交流



場所: 長野県長野市 中部森林管理局



説明: 「中部森林技術交流発表会」高校生による発表

2. 森林環境の保全

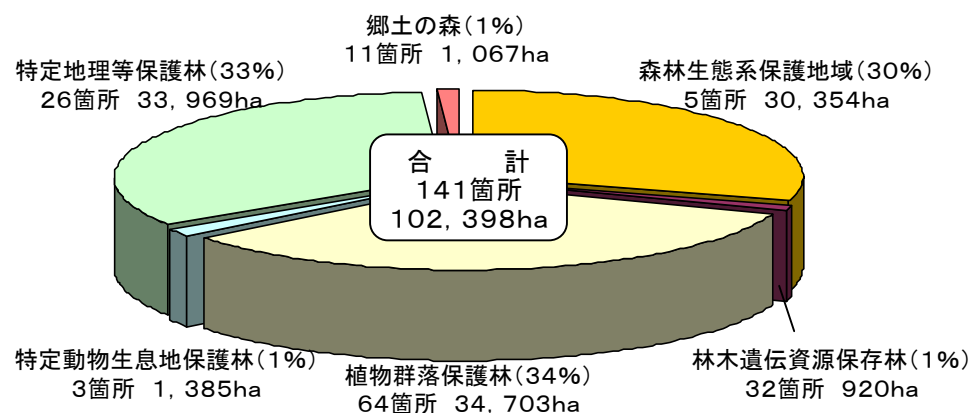
管内の優れた自然環境を有する森林や希少な野生動植物が生息・生育する国有林野については、保護林として厳正に保全・管理するなど森林生態系を維持・保存するとともに、森林の巡視、病虫害の防除等適切な森林の保全管理を推進しています。

(1) 保護林など優れた自然環境を有する森林の維持・保存

① 保護林の指定等

新たに尾勝谷ヤツガタケトウヒ・ヒメバラモミ植物群落保護林等を設定するとともに、植生の劣化・生育環境の悪化が見られるものについては、「保護林保全緊急対策事業」を実施するなど、その適切な保全・管理に努めました。

保護林の設定状況（平成20年4月1日現在）

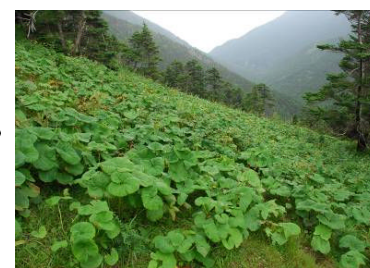
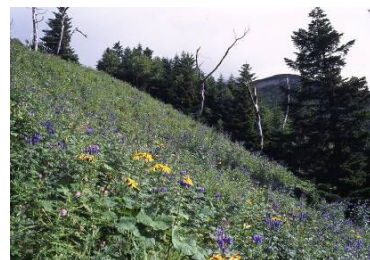


【取組事例】

- 新たな保護林の設定（平成20年4月1日設定）
南アルプスやハヶ岳等にものみ生育するヤツガタケトウヒ・ヒメバラモミの保護を目的に長野県伊那市・富士見町に5箇所559haの保護林を設定

保護林保全緊急対策事業

対 象	保護林の名称（署）	事業の概要
ヤツガタケトウヒ	にしだけ 西岳ヤツガタケトウヒ等林木遺伝資源保存林 （南信森林管理署管内）	・保全対策調査（稚樹発生・成長要因調査）
ヒメバラモミ	みこぶち 巫女淵特定地理等保護林ほか （南信森林管理署管内）	・絶滅が危惧されるヒメバラモミの保護、接ぎ木による増殖
高山植物	ひじりだけ 南アルプス聖岳植物群落保護林ほか （南信森林管理署管内）	・高山植生へのニホンジカの食害が顕著、被害調査
キンキバナアキギリ	しずも 賤母ヒノキ等植物群落保護林ほか （木曽森林管理署南木曽支署管内）	・森林遷移に衰退、かん木除去、環境要因調査
湿原植生	みずなししつせい 水無湿生植物群落保護林 （富山森林管理署）	・制札の設置
湿原植生	あもうこうそうしつげん 天生高層湿原植物群落保護林 （飛騨森林管理署）	・乾燥化による灌木の侵入に対し、除去作業
高山植物	かなきどかわたかせがわ 北アルプス金木戸川・高瀬川源流部森林生態系保護地域 （飛騨森林管理署）	・双六池への土砂流入防止のための植生復元 ・制札の設置
ヒノキ	あかんたてんぼう 赤沼田天保ヒノキ植物群落保護林 （岐阜森林管理署管内）	・侵入防止柵工事、制札の設置

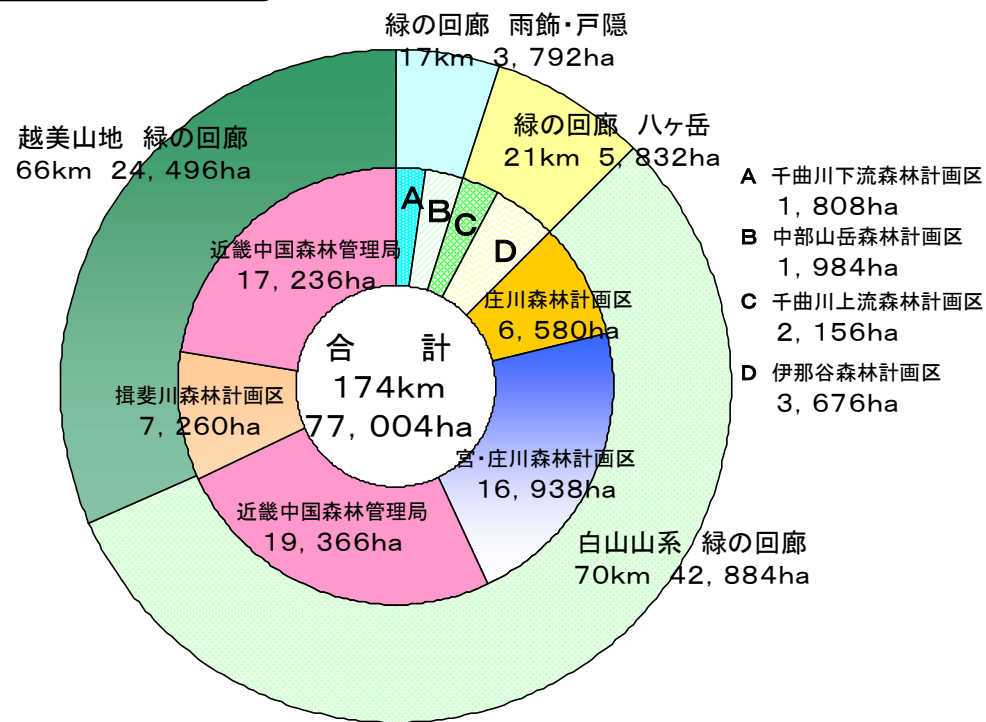


場所：長野県南信濃村 南アルプス聖岳植物群落保護林 南信森林管理署管内
説明：多様な高山植物が咲いていたお花畑（薊畑：平成9年）の様子とニホンジカの食害を受けた現在の状況（平成19年）

②「緑の回廊」の設定及び整備の推進

貴重な動植物の生息・生育地となっている保護林を連結することにより、野生動物の移動経路を確保し、個体群の交流を促すとともに、植物についても動物による花粉媒介や種子の散布を通じた交配拡大等を促す「緑の回廊」(管内4箇所)においてモニタリング調査を実施しました。

緑の回廊



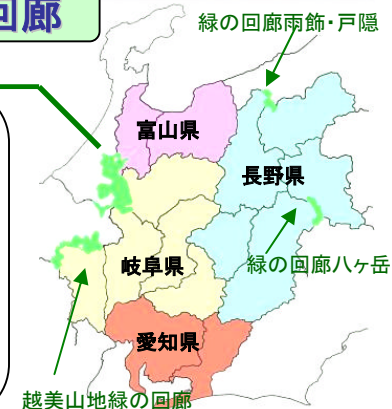
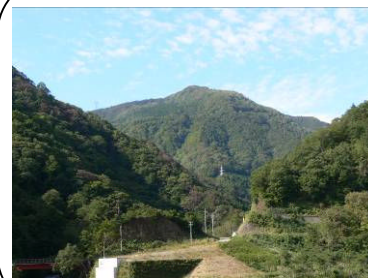
(平成20年4月1日現在)

【取組事例】

○ 管内4カ所全ての「緑の回廊」において、森林の状態と野生動植物の生息・生育実態を把握するためモニタリング調査を実施

緑の回廊

白山山系緑の回廊



白山山系緑の回廊モニタリング調査

森林調査



動物調査



場所:「白山山系緑の回廊」
富山県南砺市 西赤尾国有林外 富山森林管理署管内
説明:成熟段階のブナ林(写真左上)と下層の様子(写真右上)
ニホンカモシカ(写真左下) 自動カメラ設置の様子(写真右下)

③ 自然再生の推進

NPOやボランティアとの連携により、高山帯や災害跡地の植生等の再生に取り組みました。

「自然再生推進モデル事業」

事業の名称	該当署	事業の概要
長野県西部地震災害復旧地における自然再生事業	木曽森林管理署	地震災害後の緑化樹種からヒノキ・サワラ・ミズナラ等在来樹種による針広混交林への誘導
木曽駒ヶ岳森林生態系保護地域等における植生再生事業	木曽森林管理署 南信森林管理署	森林生態系の推移をモニタリングし、現植生を維持するとともに衰退箇所の植生を復元
木曽町城山国有林自然再生及び森林環境教育の拠点整備事業	木曽森林管理署	風倒木発生箇所の自然再生と併せNPO等による森林環境教育の拠点として整備する

【取組事例】

○ 職員が日常を通じて把握した地域の要望等を業務に反映する「森林官等の新たな発想」の取組として、関係行政機関やボランティア等と協働し、天生国有林（県立自然公園）においてオオバコ除去作業を行い自生植物を保護（一般公募により60名が参加）

○ 「中央アルプス木曽駒ヶ岳森林生態系保護地域」において、地元自治体、NPO等と連携し植生復元のためのマットを布設

○ 「長野県西部地震災害復旧跡地」において、高校生ボランティアと協働してハンノキ等緑化樹種を除伐し、ヒノキ、サワラ、ミズナラ等による針広混交林に誘導

森林官の新たな発想



場所：岐阜県飛騨市
あまの
天生国有林
飛騨森林管理署管内

説明：ボランティアによるオオバコの除去作業の様子

植生の復元作業



場所：長野県駒ヶ根市
あかほ
赤穂国有林
南信森林管理署管内

説明：自治体、NPO等と連携して植生マットを布設（写真左）

場所：長野県王滝村
おんたけ
御岳国有林
木曽森林管理署管内

説明：上流水源地域への森林整備に貢献する目的で、ハンノキ等の除伐を体験する愛知県の高校生（写真右）



④ 野生動植物の保護管理

国有林内に生息・生育するライチョウやイヌワシ、アツモリソウ等の貴重な野生動植物の保護に取り組みました。

希少野生動植物種保護管理事業

対象種	保護林の名称	事業の概要
ライチョウ	朝日岳垂直森林地帯植物群落保護林ほか (富山森林管理署) 白馬岳高山植物群落保護林ほか (中信森林管理署) 北アルプス金木戸川・高瀬川源流部 森林生態系保護地域 (飛騨森林管理署)	・巡視 ・高山植物の植生 復元(白馬岳) ・生息数調査等 (槍ヶ岳～穂高岳)
イヌワシ	大門山大型鳥類生息地保護林 (東信森林管理署)	・巡視 ・餌場確保のため の空閑地整備(間 伐等)
アツモリソウ	浅間山高山植物群落保護林 (東信森林管理署)	・巡視 ・保護

希少野生動植物種保護管理事業

ライチョウ



イヌワシ

アツモリソウ



(2) 森林の巡視、病虫害の防除等適切な森林の保全管理

林野火災、森林病虫害等の森林被害や廃棄物の不法投棄等を未然に防ぐため、グリーン・サポート・スタッフらによるパトロールや地元自治体・ボランティア等と連携した清掃活動等を実施しました。

【取組事例】

- グリーン・サポート・スタッフ(公募・40名)が、管内の日本百名山を中心に、延べ1,319日間、植物保護や利用マナーの指導啓発、植生保護・清掃活動等を実施
- 関係行政機関や山岳関係者等をメンバーとする高山植物等保護対策協議会を設置。ボランティア団体等の協力も得て「高山動植物保護パトロール」を4月から12月に実施(延べ9,896人)
- 5月を中心に不法投棄一斉パトロールや地元自治体・各種団体等と連携したクリーン活動を実施
- 松林の保護、育成を図るため、各地域における松くい虫被害の状況等に応じ、伐倒駆除等総合的な被害対策を実施
また、カシノナガキクイムシによる森林被害については、被害状況を把握するなど、県・地域とも連携して適切に森林を保全

松くい虫、カシノナガキクイムシの被害状況と対策

区 分	19年度実績	(参考)18年度実績
松くい虫被害量(m3)	475	482
特別防除(ha)	97	97
伐倒駆除(m3)	475	489
カシノナガキクイムシ被害量(m3)	1,075	91

高山植物等の保護活動



場所:長野県王滝村、岐阜県下呂市
おんたけ おちあい
御岳・落合国有林

木曽・岐阜森林管理署管内

説明:グリーン・サポート・スタッフが登山者にパンフレットを配布し、高山植物保護について啓発(写真左)

場所:長野県松本市
上高地国有林
中信森林管理署管内

説明:グリーンパトロール隊が、からさわ穂高・涸沢カールのテント場を清掃(写真右)



場所:岐阜県高山市
まえかわのりく
前川・乗鞍国有林

中信・飛騨森林管理署管内

説明:長野県、岐阜県にまたがる乗鞍岳において、両県の関係機関等が参加し高山植物保護合同パトロールを実施(写真左)

3. 林産物の供給

森林の有する公益的機能の発揮に十分配慮しながら、森林資源の状況に応じて、循環可能な資源である木材の持続的・計画的な供給に努めています。

(1) 生産・販売量の確保と低コスト・高効率作業システムへの取組

間伐等の森林整備を積極的に推進するとともに、伐採された木材の搬出に努め、生産・販売量の確保を図りました。

また、木材搬出のコスト縮減を図るため、高性能林業機械による列状間伐と簡易で崩れにくい作業路の組み合わせによる低コスト・高効率作業システムの導入・普及に取り組みました。

収穫の実施状況

(単位:千m3)

区 分	19年度実績	(参考) 18年度実績
主 伐	36	48
間 伐	365	312
計	401	360

販売の実施状況

(単位:千m3)

区 分	19年度実績	(参考) 18年度実績
立 木 販 売	21	38
素 材 販 売	122	104

【取組事例】

○ 間伐等の森林整備によって生産される並材や低質材を安定的に供給することにより、需要の拡大等を図るため、安定供給システムにより、広域的・計画的な供給を促進。19年度は、新たに7件、28,100m3の協定を締結し、継続分と合わせ前年度の113%となる37,500m3の素材を計画的に供給

○ 3署の素材生産請負事業地において、現地に適合した作業システムを試行するとともに、木曽森林管理署及び飛騨森林管理署においては、県、林業事業者等民有林関係者それぞれ約80名の参加を得て、低コスト・高効率作業システム現地検討会を実施

木材の安定供給



とうみ
場所:長野県東御市 東信森林管理署管内
説明:間伐により生産されたカラマツ材(安定供給システム用材)



場所:石川県 合板工場
説明:システム販売されたカラマツが合板工場に搬入される様子

低コスト・高効率作業システム



場所:岐阜県高山市
やまなかやま
山中山国国有林
飛騨森林管理署管内

説明:自治体関係者、林業事業者等約80名が参加した低コスト・高効率作業システム現地検討会

(2) 特産樹種の供給

歴史的木造建造物の修繕、伝統工芸等に必要な「木曽ヒノキ」をはじめとする特産樹種を長期的な計画に基づき供給しました。

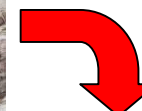
【取組事例】

- 平成25年に予定されている第62回伊勢神宮式年遷宮用の資材として、木曽ヒノキを供給
- 全国で唯一建物が現存する郡代・代官所として国の史跡に指定されている高山陣屋(岐阜県高山市)の屋根補修用資材として、ネズコ等を供給
- 木曽ヒノキの産地である上松町の保育園の玄関ホール・モニュメント用材として木曽ヒノキを供給
- ひだ しゅん けい めり 飛騨春慶塗、あららぎ 南木曽ろくろ細工、蘭檜笠など伝統的工芸品用の資材として木曽ヒノキ等を供給

特産樹種の供給

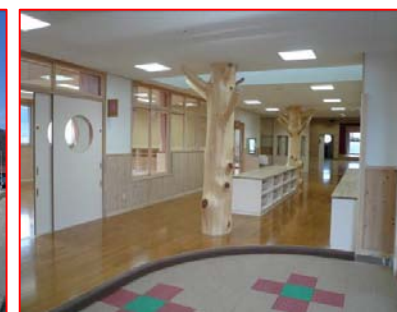


場所:長野県王滝村 木曽森林管理署管内
説明:高山陣屋の屋根補修用資材として供給したネズコ



場所:岐阜県高山市 高山陣屋
(国の史跡指定)

説明:ネズコを用いた「くれ葺き」屋根



場所:長野県上松町

説明:木曽ヒノキ等地域材を使用して完成した上松保育園(写真左)と国有林から供給した木曽ヒノキをモニュメントとして飾った玄関(写真右)

(3) 木材の利用促進等

庁舎等の新・改築や事業実行に当たっては積極的に木材を使用するとともに、関係団体等とも連携し市町村等に対して木材の利用拡大を要請しました。

【取組事例】

- 庁舎等の新・改築時には積極的に木材を使用。平成19年度は、北信森林管理署庁舎をはじめ南信森林管理署公務員宿舎等6棟を「国産材」及び「合法木材」で新築
- 木づかい推進月間中(10月)、局庁舎において「木づかい」をPRする垂れ幕を設置するとともに、ロビーに間伐材を利用した木製品を展示
- 10月8日の「木の日」にあわせ、林業関係団体等と連携して管内各県・市町村などに対し、公共施設等への木材の積極的な利用等について要請

庁舎等への木材利用



場所：長野県飯山市 北信森林管理署
説明：国産材を使用して新築した北信森林管理署

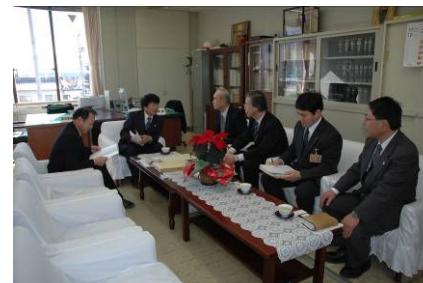


木づかい推進月間



場所：長野県長野市 中部森林管理局
説明：木づかい推進月間をPRする垂れ幕(写真左)と木製品の展示(写真右)

公共機関への要請活動



場所：長野県^{ちくま}千曲市 千曲市教育委員会
説明：千曲市教育委員会に対し、教育施設への木材利用拡大について要請

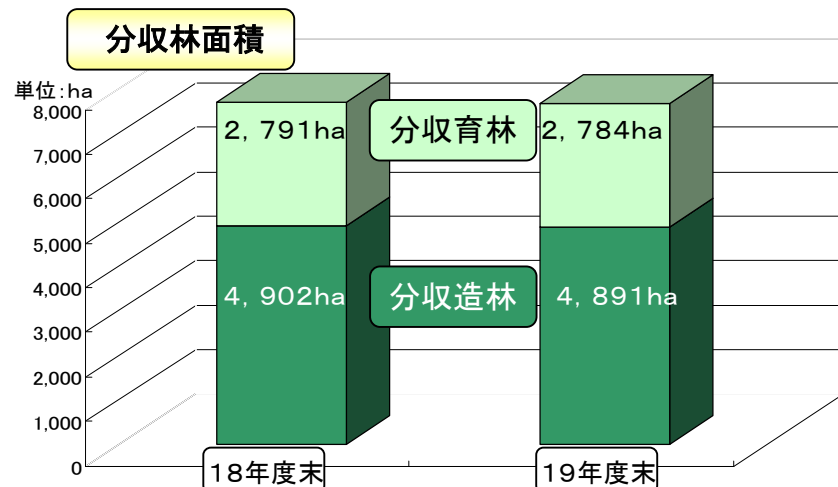
4. 国民の森林としての取組

森林とのふれあいや森林整備への参加等の要請に応えるため「国民参加の森林づくり」、「森林環境教育」や「地域と連携した取組」等を推進しています。

(1) 国民参加の森林づくりの推進

① 分収林制度

森林づくりに参加したいという要望に応えるため、将来の木材販売による収益を分け合うことを前提とした「分収林制度」を通じて国民参加の森林づくりを進めました。



【取組事例】

○ 分収林契約により、企業が社会貢献活動の一環として森林づくりを行う「法人の森林」制度を活用して、平成19年度は岐阜県高山市の彦谷国有林に、日本品質保証機構と協定を締結し、約1.9ヘクタールの「JQAの森林」を設定

○ 分収林事業を通じて、森林整備に長年努力された契約者に中部森林管理局長から感謝状を贈呈

法人の森林



場所: 岐阜県高山市 彦谷国有林
飛騨森林管理署管内

説明: 「JQAの森林」として法人の森林協定を実施

分収造林事業



場所: 岐阜県東白川村 越原国有林
岐阜森林管理署管内

説明: 分収造林箇所を中学生の
林業体験の場として活用



② NPO等による森林づくり

ア「ふれあいの森」

森林づくりにボランティアとして参加したいというNPO団体等の要望に応えるため、国有林野のフィールドを継続的に活用できる「ふれあいの森」を設定しており、協定を結んだボランティア団体等による森林整備活動、自然観察会、森林教室等の場として活用されました。

「ふれあいの森」の協定状況

(平成19年度末現在)

名称等	実施団体	場所、面積等
とがくし 戸隠ふれあいの森	「戸隠ふれあいの森」 森林整備協議会	長野県長野市 戸隠山、黒姫山国有林 605.10ha 北信森林管理署管内
たいじゅ あかさわ 太樹の森・赤沢	NPO法人地球緑化 センター	長野県上松町 小川入国有林 6.92ha 木曽森林管理署管内
名古屋シティ・フォレ スター倶楽部の森	名古屋シティ・ フォレスター倶楽部	愛知県設楽町 段戸国有林 2.63ha 愛知森林管理事務所管内
ちゅうにちしんゆうたい 中日森友隊の森	中日森友隊	愛知県設楽町 段戸国有林 0.96ha 愛知森林管理事務所管内
かるいざわ 軽井沢ふれあいの森	どんぐり運動の会	長野県軽井沢町 ながくらやま 98.70ha 長倉山国有林 東信森林管理署管内
ほ くに 穂の国・みんなの森	穂の国森林づくりの会	愛知県設楽町 段戸国有林 2.39ha 愛知森林管理事務所管内
犬山ふれあいの森	犬山市アムニティ協会	愛知県犬山市 はつそ 36.07ha 八幡山国有林 愛知森林管理事務所管内
じゅうじん 樹遊人の森林	樹遊人塾	岐阜県関市 かんざき 1.64ha 神崎山国有林 岐阜森林管理署管内
ふれあいの森	岐阜森林愛護隊	岐阜県高山市 宮国有林 6.01ha 飛騨森林管理署管内
おおひのき 大松の森	恵那山みどりの会	岐阜県中津川市 ゆふねざわ 17.69ha 湯舟沢国有林 東濃森林管理署管内

【取組事例】

- 管内10箇所で開催している「ふれあいの森」において森林整備の技術指導を実施。また自然観察として活用の際には、職員を派遣するなど活動を支援

ふれあいの森



とがくし
場所：長野県長野市 戸隠国有林 「戸隠ふれあいの森」北信森林管理署管内
説明：戸隠森林植物園ボランティアの会及びボーイスカウトによる植樹

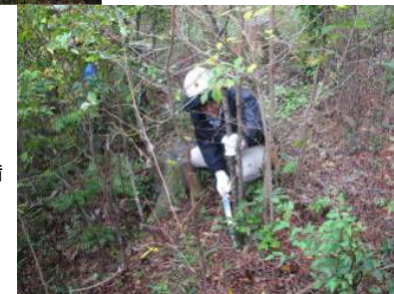


したら だんど
場所：愛知県設楽町 段戸国有林
「穂の国みんなの森」
愛知森林管理事務所管内

説明：豊かな漁場づくりのため、
森林整備活動に参加した
下流漁業関係者（写真左）

場所：愛知県設楽町 段戸国有林
「穂の国みんなの森」
愛知森林管理事務所管内

説明：下流漁業関係者による森林整備
の様子(写真右)



イ「名古屋シティ・フォレスター事業」

森林とふれあい、森林整備や自然環境保全活動等にボランティアとして参加したい都市住民の方を対象に「名古屋シティ・フォレスター事業」を実施しました。

(平成19年度は13回実施し、264名が参加)

平成19年度「名古屋シティ・フォレスター事業」の実施状況

回	イベント名	実施月日	実施場所	事業の概要	参加者数
1	多くの人が親しみ学べる 樹木見本林づくり	4.21	愛知所管内	刈払作業	44名
2	歩道整備で赤沢美林を 守ろう①	5.12	木曽署管内	針葉樹チップ 敷詰作業	25名
3	下層植生回復試験地の 間伐をしよう	5.18	岐阜署管内	間伐作業	17名
4	歩道整備で赤沢美林を 守ろう②	5.26	木曽署管内	針葉樹チップ 敷詰作業	15名
5	巨樹巨木「赤沼田天保 林」の遊歩道を整備しよう	6.15	岐阜署管内	針葉樹チップ 敷詰作業	12名
6	天生の湿原植物を守ろう	6.23	飛騨署管内	オオバコ 除去作業	33名
7	水源地の広葉樹を育てよ う	6.28	富山署管内	下刈作業	5名
8	立山の高山植物を守ろう	7.10	富山署管内	西洋タンポポ 除去作業	中止
9	雑草に負けず大きく育て よう	7.19	愛知所管内	下刈作業	11名
10	植樹祭跡地の植栽木を 育てよう	8.3	木曽署南木 曽支署管内	下刈作業	中止
11	赤沢美林にヒノキを再生 しよう	9.1	木曽署管内	低木除去作業	20名
12	御岳登山道に明るさを取り 戻そう	10.13	飛騨署管内	除伐作業	22名
13	散策して気持ちのいい定 光寺自然休養林にしよう	10.20	愛知所管内	刈払作業	29名
14	枝打作業で立派な木を育 てよう	11.9	東濃署管内	枝打作業	18名
15	林内に光を取り込み元気 な林に育てよう	11.17	愛知所管内	間伐作業	13名

名古屋シティ・フォレスター事業



場所:愛知県設楽町 段戸国有林
愛知森林管理事務所管内

説明:ヒノキ造林地の下刈作業に汗を流す
参加者(第9回「雑草に負けず大きく育
てよう」)



場所:長野県上松町 小川入国有林
木曽森林管理署管内

説明:針葉樹チップを敷き詰め、根の
保護作業を行う参加者(第4回
「歩道整備で赤沢美林を守ろう②」)



③ 木の文化を支える森づくり

重要文化財に指定されている神社仏閣等の歴史的な木造建造物や、各地の祭礼行事、伝統工芸等の次代に引き継ぐべき木の文化を守るため、国民の皆さんの参加により「木の文化を支える森づくり」を進めました。

「木の文化を支える森づくり」の設定状況

(平成19年度末現在)

名 称	場 所	対象樹種、目的等
ひわだ 檜皮の森	長野県南木曽町 しずも 賤母国有林 木曽署南木曽支署管内	ヒノキ 歴史的建造物の屋根葺用材の確保
おんばしら 御柱の森	長野県下諏訪町 ひがしまた 東侯国有林 南信森林管理署管内	モミ 諏訪地方の伝統行事「御柱祭」の御柱用材の確保
道祖神祭りの森	長野県野沢温泉村 いけのさわ 池ノ沢国有林 北信森林管理署管内	ブナ 重要無形民族文化財「道祖神祭」の用材確保
裏木曽古事の森	岐阜県中津川市 かしもうらきそ 加子母裏木曽国有林 東濃森林管理署管内	ヒノキ 社寺仏閣等伝統的建造物の修復用材の確保
南木曽伝統工芸の森	長野県南木曽町 みなみあらぎ 南蘭国有林 木曽署南木曽支署管内	トチ、ケヤキ等 「南木曽ろくろ細工」用資材の確保

「木の文化を支える森づくり」に準ずる設定状況

(平成19年度末現在)

名 称	場 所	対象樹種、目的等
かやば 茅場造成	岐阜県白川村 おがみごう 尾上郷国有林 飛騨森林管理署管内	カリヤス しらかわごう 世界文化遺産「白川郷合掌造り集落」の屋根葺材料の確保
戸隠竹細工の森	長野県長野市 とがくし 戸隠国有林 北信森林管理署管内	チシマザサ 長野県知事指定「伝統工芸品信州戸隠竹細工」の資材確保

道祖神祭りの森



場所：長野県野沢温泉村 池ノ沢国有林
北信森林管理署管内

説明：「道祖神祭」用資材の選定と搬出を行う様子



御柱の森



場所：長野県下諏訪町 東侯国有林
南信森林管理署管内

説明：「御柱の森」でニホンジカの被害を受けたモミ（写真上）
シカ対策の防護ネットの設置（写真右）



④ 民間団体等の多様な活動を推進するための協定

民間団体等が国有林において森林保全など、多様な活動を行いました。

「民間団体等の多様な活動推進」協定の状況

(平成19年度末現在)

名称・面積(距離)	場 所	協定締結者・協定締結日
せきだ 「関田トレイル」 約30km	いいやまし 長野県飯山市ほか だいかぐら うばがたけ とよだやま 大神楽・姥ヶ嶽・豊田山国有林ほか 北信森林管理署管内	・NPO法人「信越トレイルクラブ」代表理事 (長野県飯山市) ・関東森林管理局上越森林管理署長 ・北信森林管理署長 ・平成16年10月20日協定締結
じょうやましせき 「城山史跡の森」 約78ha	長野県木曽町 じょうやま 城山国有林 木曽森林管理署管内	・「城山史跡の森倶楽部」会長 (長野県木曽町) ・木曽森林管理署長 ・平成16年11月2日協定締結
「山のフィールド ミュージアム」 約139ha	岐阜県高山市 ほだか やけだけ ひらゆ 穂高・焼岳・平湯国有林 飛騨森林管理署管内	・NPO法人「山の自然文化研究センター」理事長 (岐阜県高山市) ・飛騨森林管理署長 ・平成17年3月5日協定締結

【取組事例】

- 協定を締結した箇所において活動を支援
 - ・ 関田トレイル: ルートの整備等
 - ・ 城山史跡の森: 歩道、看板の整備等
 - ・ 山のフィールドミュージアム: 歩道整備、森林教室の実施

関田トレイル



場所: 長野県飯山市 大神楽国有林
北信森林管理署管内

説明: 関田トレイルの整備に参加した
NPO法人会員、森林管理署職員
等(写真右)

場所: 長野県飯山市 ^{だいかぐら}大神楽国有林
北信森林管理署管内

説明: トレイルの開通に向けた伐開
作業(写真左)



城山史跡の森



場所: 長野県木曽町 城山国有林
木曽森林管理署管内

説明: 枝打作業 (写真右)

場所: 長野県木曽町 ^{じょうやま}城山国有林
木曽森林管理署管内

説明: NPO法人の会員やボランティア
による歩道の整備 (写真左)



⑤ 巨樹・巨木の保護活動

次世代に残すべき国有林野内の巨樹・巨木(「森の巨人たち百選」)を保護するため、関係者からなる協議会と協働し、歩道の整備、保護柵や案内板の設置等を行いました。

(富山県1本、長野県4本、岐阜県7本、計12本)

管内巨樹・巨木の所在地

樹種〈愛称〉	所在地
ブナ もりたろう 〈森太郎〉	長野県飯山市 大神楽国有林170林班 (北信森林管理署)
トチノキ もらいさん 〈茂来山のこぶ太郎〉	長野県佐久穂町 茂来山国有林24林班 (東信森林管理署)
シナノキ こうぼうだいし 〈弘法大師のさかさ杖〉	長野県東御市 新張山国有林1011林班 (東信森林管理署)
カラマツ 〈ジャンボカラマツ〉	長野県塩尻市 奈良井国有林1554林班 (木曽森林管理署)
スギ 〈ブナ平立山のスギ〉	富山県立山町 ブナ坂国有林138林班 (富山森林管理署)
ヒノキ みさかおひ 〈神坂大櫓〉	岐阜県中津川市 湯舟沢国有林2248林班 (東濃森林管理署)
イチイ みや 〈宮の大イチイ〉	岐阜県高山市 宮国有林64林班 (飛騨森林管理署)
ネズコ ひらゆ 〈平湯の大ネズコ〉	岐阜県高山市 平湯国有林2195林班 (飛騨森林管理署)
ヒノキ てんぼう 〈天保の大ヒノキ〉	岐阜県下呂市 赤沼田国有林232林班 (岐阜森林管理署)
ヒメコマツ しょうかわ 〈莊川のヒメコマツ〉	岐阜県高山市 軽岡国有林4123林班 (飛騨森林管理署)
ヒノキ しょうかわ 〈莊川のヒノキ〉	岐阜県高山市 軽岡国有林4123林班 (飛騨森林管理署)
ヒノキ かきぎ 〈笠木〉	岐阜県恵那市 上村恵那国有林1060林班 (東濃森林管理署)

巨樹・巨木の保全活動



「森太郎」
(ブナ)



場所:長野県飯山市 大神楽国有林
北信森林管理署管内
説明:地元協議会による保護活動
(樹木医による診察)



「宮の大イチイ」
(イチイ)



場所:岐阜県高山市 宮国有林
飛騨森林管理署管内
説明:小学生を対象とした森林教室において、
森林官が保護活動の重要性を説明

⑥ ボランティア団体等の支援

木曽森林環境保全ふれあいセンター(長野県木曽町)では、NPO等や教育関係者による、自然再生活動や森林環境教育に対する技術指導等を行いました。

【取組事例】

- 管内の森林ボランティア団体等が一堂に会する「グリーンボランティア・サミット」を開催、体験学習や意見交換等を通じ、ボランティア団体の資質の向上と国民参加の森林づくり、森林環境教育を一層推進

⑦ インターンシップの受入

大学生らが中部森林管理局の実務に接することにより、学習意欲を喚起し、高い職業意識を育成するとともに、国有林野事業及び林野行政に対する理解を深めてもらうことを目的に、研修生を受入

【取組事例】

- 林学を学ぶ大学生等らを対象に、国有林野事業の指導普及業務、国有林野管理業務、森林整備業務等を体験する研修を実施(19年度3名)

グリーンボランティア・サミット



場所: 岐阜県中津川市

説明: 管内各県より参加したボランティア団体のメンバー(写真左)

場所: 岐阜県中津川市

説明: 意見交換の様子(写真右)



インターンシップの実施



おがわながほら
場所: 岐阜県下呂市 小川長洞国有林
森林技術センター管内

説明: 伐倒作業を体験する学生
(写真左)

場所: 岐阜県下呂市 小川長洞国有林
森林技術センター管内

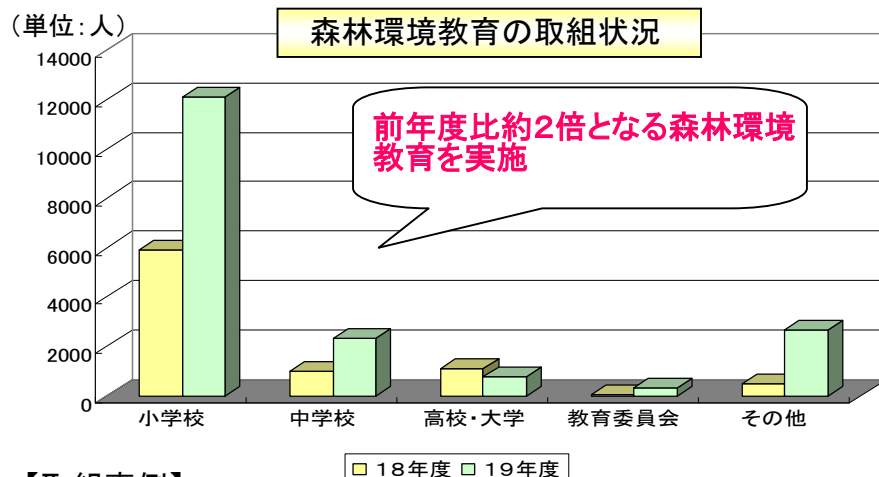
説明: 複層林施業試験地内プロットにおいて生長量を調査する学生
(写真右)



(2) 森林環境教育の推進

① 森林環境教育の実施

森林の中での様々な体験活動等を通じ、人々の生活や環境と森林との関係について学び、森林のもつ多面的機能、森林整備や木材利用の必要性等について理解を深めていただくため、NPOや関係機関と連携して森林教室等を開催しました。



【取組事例】

○ 将来を担う小中学生を中心に「森林環境教育」を実施
（268回開催し、延べ18,176名が参加）

○ 新たに取り組んだ出前授業を、25回実施し、1,151名が参加

○ 家族で森林に親しむ企画として、新たに「親子で楽しむ森林散策」を開催。14家族、42名が参加

○ 森林体験学習を推進するため、学習の指導者となる小学校等の教職員を対象に、森林・林業に関する基礎知識や体験活動の技術が習得できるよう「森林体験学習研修会」を開催
（平成19年度は約100名の教職員が参加）

森林環境教育



場所：岐阜県下呂市 中原中学校
説明：中学生を対象とした森林教室



場所：長野県長野市 櫻ヶ丘中学校
説明：出前授業による森林教室

親子で楽しむ森林散策



場所：長野県飯山市 大神楽国有林
北信森林管理署管内

説明：新緑の中、森林管理署職員等の案内により森林散策を楽しむ親子

教職員森林体験学習研修会



場所：長野県東御市 北山国有林
東信森林管理署管内

説明：教職員による間伐体験

② 国有林のフィールドの活用

学校等と森林管理署が協定を結び、国有林をフィールドとして、子供達が森林の中で自由に遊べる「遊々の森」制度を推進しました。

「遊々の森」の設定状況

(平成20年4月1日現在)

名 称	面積(ha)	場 所	協定締結相手方
みよたまち 御代田町遊々の森	7.84	みよたまち あさまやま 長野県御代田町 浅間山国有林	御代田町長
やまわら 山童の森	13.84	しなのまち れいせんじやま 長野県信濃町 霊仙寺山国有林	東京環境工科専門 学校長
どすこい山	9.75	まつもとし ごてんやま 長野県松本市 御殿山国有林	本郷小学校長
遊々の森	9.59	たかやまし ほたか ひらゆ 岐阜県高山市 穂高・平湯国有林	栃尾小学校長
みんなの森	36.07	いぬやまし はつそ 愛知県犬山市 八幡国有林	犬山市アメニティ協会 今井小学校
しんめい 神明の森	2.10	せとし せと 愛知県瀬戸市 瀬戸国有林	掛川小学校長
たんきゆう 探求の森	8.19	ふじみまち にしだけ 長野県富士見町 西嶽国有林	茅野高等学校長
多摩市民の森	19.09	ふじみまち にしだけ 長野県富士見町 西嶽国有林	多摩市長
中野区遊々の森	9.05	ながくらやま 長野県軽井沢町 長倉山国有林	中野区教育委員会
とこわか の森	1.03	あげまつまち おがわいり 長野県上松町 小川入国有林	国民精神研修財団 木曽ヒノキの森

【取組事例】

○ 平成19年4月、新たに1箇所の「遊々の森」を設定(とこわか
の森)。あわせて10箇所において森林教室や森林体験活動等に活用

○ 名古屋市の市民等を対象に、森林のもつ多面的機能や木材利用の重要性等について、楽しみながら理解を深めていただく「森林ふれあい講座」を定光寺自然休養林ほかで7回開催

遊々の森



場所:長野県上松町 小川入国有林
木曽森林管理署管内
説明:新たに設定した「とこわか
の森」(写真左)

場所:長野県上松町 小川入国有林
木曽森林管理署管内
説明:「とこわか
の森」での記念植樹
(写真右)



森林ふれあい講座



場所:愛知県名古屋市
名古屋事務所

説明:ほだ木にシイタケの菌を打ち込む子供達(「第1回森林ふれあい講座」)(写真左)

場所:岐阜県中津川市 かしもうらきそ
国有林 東濃森林管理署管内

説明:名古屋城本丸御殿用資材として伐採した木曽ヒノキの根株を見学する参加者(「第2回森林ふれあい講座」)(写真右)



(3) 双方向の情報の受発信

開かれた「国民の森林」としての管理経営を一層推進するため、森林環境教育の活動等を通じて、森林・林業に関する情報・サービスを提供するとともに、「地域管理経営計画」の策定の際に国民の皆さんの意見を聞くなど、双方向の情報受発信に取り組んでいます。

【取組事例】

- 湯ノ丸高原、乗鞍岳、白山山麓において「森林パノラマウォーク」を3回開催
(7月・10月、129名が参加)
- 国有林野事業について幅広い国民の理解の促進を図るとともに、意見、要望等を聴取し、国有林野の管理経営に役立てることを目的として、中部森林管理局管内に在住の30名の方々に「国有林モニター」を委嘱
19年度は新たに「国有林モニター現地視察会」を赤沢自然休養林で開催、20名が出席
- ホームページの充実や記者発表など積極的な広報活動の推進
- 平成19年度に樹立した地域管理経営計画等森林計画(伊那谷、木曽川、東三河)について、あらかじめ県、市町村、有識者の意見を聞くとともに、森林計画案を公告・縦覧し、提出された意見等を反映

森林パノラマウォーク



場所:長野県東御市 湯ノ丸・高峰
自然休養林 東信森林管理署管内
説明:植物の説明を受ける参加者(第1回)

場所:岐阜県白川村 白山白川自然
休養林 飛騨森林管理署管内
説明:森林インストラクターの説明を受
ける参加者(第3回)



国有林モニター現地視察会



場所:長野県上松町 小川入国有林
木曽森林管理署管内
説明:赤沢自然休養林内を視察する
国有林モニター

(4) 地域等との連携

地域住民や上下流域と協働・連携した森林の整備・保全活動を推進しました。

【取組事例】

- 「森林浴発祥の地」である長野県上松町の「赤沢自然休養林」において、「木曽川・森づくりin赤沢」を開催し、木曽川下流域の名古屋市民と地元住民及び森林ボランティア団体による間伐体験、森林散策及びネイチャークラフトを実施
(9月、68名が参加)
- 昭和59年に発生した長野県西部地震の災害跡地で、引き続き「未来世紀へつなぐ緑のバトン」を開催し、木曽川上下流域の住民がドングリから育てたミズナラを植樹
(5月、250名が参加)
- 民有林関係者及び上下流住民等との連携を強化するため、地域等からの意見及び要望を踏まえて作成した「第三次流域管理アクションプログラム」に基づき管内14流域で72のメニューを実施

木曽川・森づくりin赤沢



場所：長野県上松町 小川入国有林
木曽森林管理署管内

説明：開会式の様子（写真左）



場所：長野県上松町 小川入国有林
木曽森林管理署管内

説明：職員の指導を受けヒノキ人工林の間伐を行う参加者(写真右)

未来世紀へつなぐ緑のバトン



場所：長野県王滝村 長野県西部地震
災害跡地 木曽森林管理署管内

説明：緑のバトンに参加した子供達
(写真左)



場所：長野県王滝村 長野県西部地震
災害跡地 木曽森林管理署管内

説明：木曽川流域の住民が育てたミズナラの苗を災害跡地に植樹（写真右）

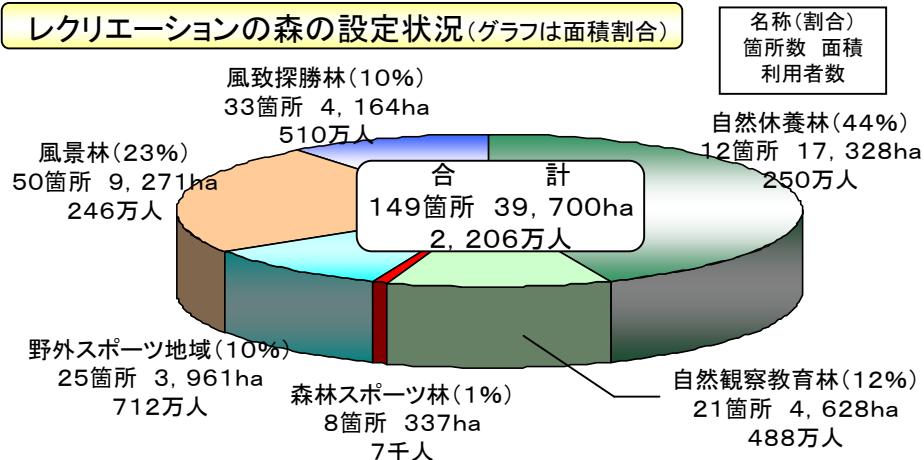
5. 地域振興への寄与

森林浴や自然観察等に適した国有林を、「レクリエーションの森」として整備・活用するとともに、地域の産業振興等に必要な林野・土地の貸付け、売払いを行っています。

(1) 公衆の保健のための活用

四季折々の自然の美しさを楽しむ事が出来る自然休養林、キャンプ、スキー・スノーボード等が楽しめる野外スポーツ地域、自然植生や野鳥等の観察に適した自然観察教育林など、「レクリエーションの森」として提供しました。

レクリエーションの森の設定状況(グラフは面積割合)



注: 箇所数、面積は平成20年4月1日現在の数値であり、利用者数は平成19年度実績である
合計にはその他13ha(歩道等単独施設)を含む
面積については、種類ごとの小数点以下四捨五入のため合計面積と一致しない

【取組事例】

- 家族が森林の中で、自然とふれあいながら自由に遊び、学び、安らぎの場とする「ファミリー・フォレスト・ガーデン」(カヤの平自然休養林(長野県木島平村)の6区画を新たに提供
- 地域の意向と特性、利用者のニーズを踏まえ、レクリエーションの森の設定及び管理経営方針書を見直し

ファミリーフォレストガーデン



場所: 長野県長野市 中部森林管理局

説明: 6区画について、抽選会を開催



場所: 長野県木島平村 木島山国有林
北信森林管理署管内

説明: 利用者同士の交流を図るため
森林インストラクターによる森林
教室を開催(写真左)

場所: 長野県木島平村 木島山国有林
北信森林管理署管内

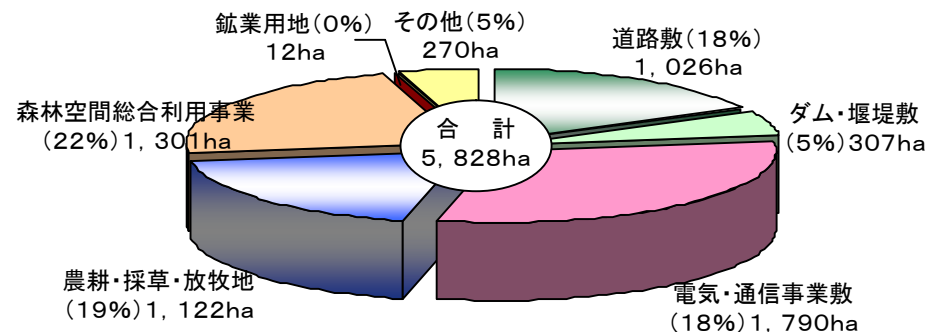
説明: 森林インストラクターによるキノコの
説明を聞く参加者(写真右)



(2) 国有林野の活用等

地域の産業振興、住民の福祉の向上等に貢献するため、地方公共団体等に対して林野・土地の貸付け、売払いを行いました。

平成19年度末国有林野の貸付割合



林野・土地の売り払い状況

(単位:ha、億円)

区 分	19年度実績		(参考)18年度実績	
	面 積	金 額	面 積	金 額
林 野	48.2	3.3	54.0	1.3
土 地	0.5	0.3	2.1	19.1
合 計	48.7	3.6	56.1	20.4

【取組事例】

- 農地や採草放牧地、道路、電気、通信、ダム等の敷地として、地元市町村や団体等に約5.8千haの国有林野を貸付
- 庁舎・公務員宿舍の集約化等により余剰となった敷地の活用を図るなど、事業実行上不可欠なものを除き売払いを実施

国有林野の活用



やけやま

場所:長野県上田市 焼山国有林 東信森林管理署管内

説明:地元放牧組合に採草放牧地として国有林を貸付

土地の売払



場所:長野県軽井沢町 東信森林管理署管内

説明:軽井沢町に売り払いした旧貯木場敷。矢ヶ崎公園として地元住民等が利用

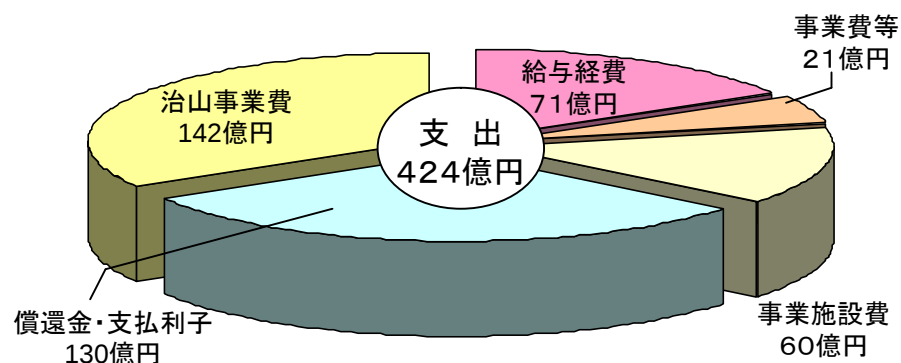
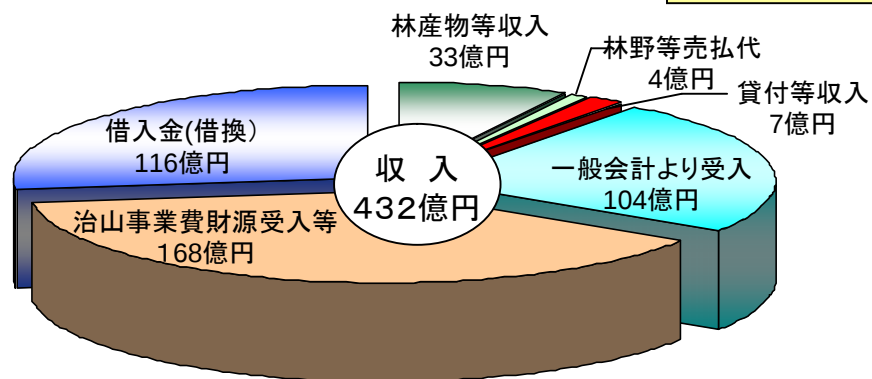
6. 事業運営

事業の適切な進行管理や創意工夫等により、事業収入の確保と支出経費の削減に努めました。

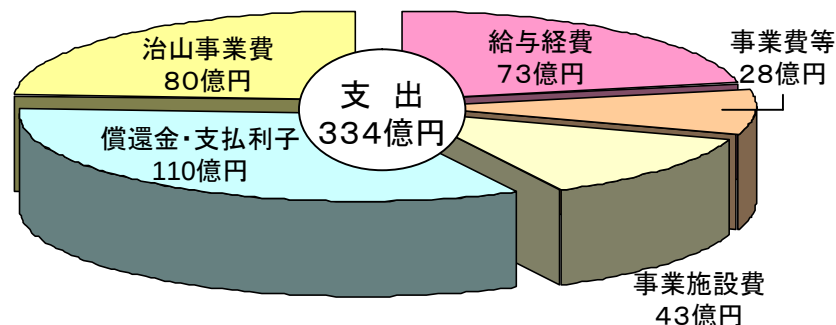
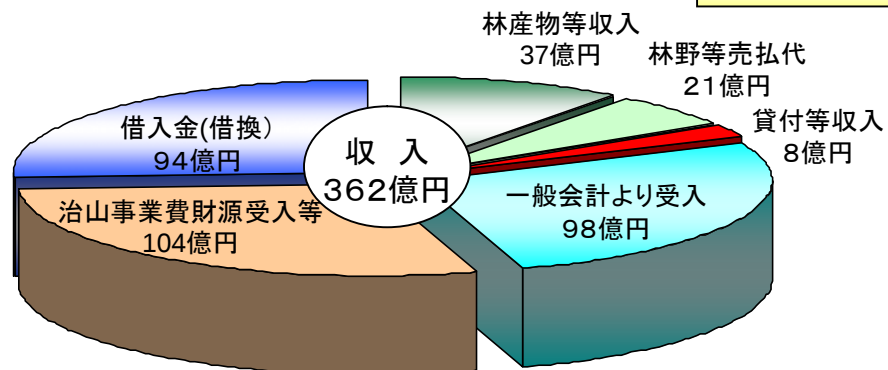
(1) 平成19年度の収支

平成19年度の収支の状況は、収入面において、木材価格の低迷等の状況下で販売努力を重ねて自己収入の確保に努める一方、支出面において、経費の削減に努めました。

平成19年度収支



平成18年度収支(参考)



注: 金額は科目ごと四捨五入しているため、合計額と一致しない場合がある。

(2)労働安全衛生の確保

平成19年度の労働災害の発生件数は、残念ながら前年度を上回る結果となり、災害の発生頻度を示す度数率も高くなりました。このため、重大災害の根絶はもとより、労働災害を未然に防止するための取組を一層強化しました。また、職員の生活習慣病予防等の健康保持増進対策や心の健康づくり対策に取り組むなど心身両面にわたる健康づくりを進めました。

労働災害の発生状況

区 分	災 害 発 生 件 数				度数率	強度率
	死亡	重傷	軽傷	合計		
19年度	0	8	5	13	9.60	0.11
18年度(参考)	0	1	11	12	8.95	0.05

- 注:1 第7次中部森林管理局労働災害防止対策要綱(推進期間平成15～19年度)
における度数率、強度率の目標 度数率:4.70、強度率:0.07
2 度数率=災害件数/実労働延時間×1,000,000
3 強度率=労働損失日数/実労働延時間×1,000
4 重傷は、休業8日以上とする

7. 組織

